

Life with Green Technology
三協アルミ

豪雨にも・強風にも
負けない強さ

もれなく強化。

てまなく進化。

手間なく、お掃除ラクラク!
フラットレール

ハイスベックサッシ
ALGEO
アルジオ

断熱性・防露性にも優れた
[アルミ]+[樹脂]複合サッシ

「アルジオ」は、耐久性に優れたアルミと、アルミに比べ1/1000の熱伝導率で外の熱が伝わりにくい樹脂の複合構造。優れた断熱効果を発揮し、結露の発生も抑えます。



GOOD DESIGN
AWARD 2015



三協立山株式会社 三協アルミ社

alumi.st-grp.co.jp

月刊 建材 ナビ Navi

特集：リモコン電動を軸に電動化率アップを
進める「スクリーン型窓シャッター」
「スリット型電動シャッター」
「外付ブラインドシャッター」
特集：2017年期待の環境・リフォーム
商品群

〈窓・ドア/エクステリア〉
〈医療・商業施設・ビル〉

2月号
No.219

ミルト出版会

〒182-0023 東京都調布市染地3-1-87

ト-1-407号

☎042-484-4507

FAX 042-484-4509

発行人 堤 祥行

年間購読料 30,000円(送料・税込)

建材 navi 2月号-No.219 目次

特集 リモコン電動を軸に電動化率アップを進める
「スクリーン型窓シャッター」「スリット型
電動シャッター」「外付ブラインドシャッター」 6

特集 2017年期待の環境・リフォーム商品群
＜窓・ドア/エクステリア＞ 11
＜医療・商業施設・ビル用＞ 14

【環境・健康建材コーナー】 3

【新製品・新技術情報/業界の動き】 17

© Miruto Shuppankai Ltd.2017 無断転載・コピーを禁ず

建材市場動向、環境・健康・景観建材情報をお手元に!!


FAX:042-484-4509までお申し込みください

キリトリ

月刊「建材navi」購読申込書

月刊「建材navi」を平成29年(2017年) 号(月号)より1年間購読します。

(年間購読料/送料・税込30,000円)

貴社名	部署	ご芳名	印
送付先			
		FAX	

【環境・健康建材コーナー】

LIXIL

「LIXIL エクステリアコンテスト2016」で、過去最高の応募2042店・6858作品の中から大賞の「**藤 neutral**」(愛知県、ファサード部門金賞) 等入賞作品320作品を決定

LIXIL(瀬戸欣哉社長)は、全国の優れたエクステリア施工例を表彰する「LIXIL エクステリアコンテスト2016」で、過去最高の応募2042店・6858作品の中から、大賞作品・ニコニコ大賞作品をはじめ、各部門の入賞320作品を決定した。

大賞には、「ファサード部門」(門まわり・車庫まわり)で金賞を受賞した「**藤 neutral**」(愛知県)の作品が選出された。また、施主と販工店が一緒に応募する「エクステリアと家族の幸せ部門」のニコニコ大賞は、「グランド工房宗像店」(福岡県)の作品が受賞した。

「**藤 neutral**」の大賞作品には、門扉:プレミエス、ポスト:エクスポスト、フェンス:プログコート、車庫前門扉:ワイドオーバードアS、プラスG:Gルーフ、エクステリアライト:美彩、外壁タイル:エクセンシアなどが採用されている。

審査員:エクステリア&ガーデンアカデミー青山校校長の古橋重昌氏のコメント―「重厚な建物の外観とエクステリアのデザインが見事にマッチしています。特に2階の大きな屋根や玄関の庇とGルーフのカールーフタイプのダイナミックな屋根の水平ラインが自然に馴染んでいて美しい作品となっています。門まわりは道路から門扉が直接みえないよう直角にレアウトし、門扉の位置もやや引きをとっているのも大き



◆まちなみ部門:「積和建設新湯藤」(新潟県)。◆エクステリアリフォーム部門:「鐘商藤」(大阪府)。□2016年特別賞ライティンング大賞―◆「藤モダンハウジング」(広島県)。

最新のデザインレ
ンドを取り入れた内
装壁タイルを新発売

LIXILは、最新のトレンドを取り入れたデザインタイル「メタルスタッコ」「カルベテ」など、高意匠の内装壁タイル7商品を3月1日新発売する。

デザインタイル3商品、デザインクラフト2商品、インテリアモザイク1商品、無地内装タイル1商品。

デザインタイルは、コンクリート調「メタルスタッコ」(全4色)、コットセメント調「カルベテ」(全9色)、キッチン、洗面空間向けの「レジサージュ」(全7色)の3商品。

デザインクラフトは、和風住宅、ホテル・マンションに最適な「ホムラ」(全3色)、釉薬の透明感が特徴の「スティックアクア」(全7色)。インテリアモザイクは、水まわり向けの「ビュポニート」(全5色)。無地内装タイルは焼きもろしい柔らかな表情の「古雅色(こがいろ)」(全10色)。

新研究開発センター
「(仮称) LIXIL 野田R
& Dセンター」を建設

LIXILは昨年11月25日、野田事業所内の住宅・ビル用サッシ、玄関ドアの新たな研究開発センター「(仮称) LIXIL 野田R & Dセンター」の起工式を執り行った。2017年8月開設予定。



野田事業所は、1969年にアルミサッシの一貫生産工場として操業開始、その後、基幹サッシの開発拠点の役割を果たしてきた。今回、サッシの一貫製造50周年を迎えるのを機に、研究、企画、設計、検証、試験が一体となった新たな開発スタイルを確立し、これまでにない発想や視点を取り入れた商品開発ができるセンターを新設するもの。

所在地：千葉県野田市中里3000。施工：大林組。延床面積：鉄骨造2階建て44万3393㎡。

くまもとアートポリスの「みんなの家」プロジェクトに窓やトイレ、キッチン製品等を提供

LIXILは、熊本県・くまもとアートポリス(以下KAP、コミッション・伊東豊雄氏)が進める「みんなの家」プロジェクトの趣旨に賛同し、昨年12月益城町テック仮設団地内に完成した、県内最大規模の「益城町テクノ本格型みんなの家」建設に協力、窓やトイレ、キッチンなどの製品を提供した。

KAP事業は、これまで東日本大震災や熊本区域水害に際して被災者が急い、復興について語り合う拠点として「みんなの家」を建設してきた。これらの経験を活かして熊本地震後、16市町村110団地に4000戸を熊本県においても、各団地に60㎡

の集会所や40㎡の談話室といった規格型「みんなの家」の建設を進めているもの。計画の全84棟の内、76棟が完成している。

三協アルミ

建築基準法適合のサイクルポート「リンリンエース」新発売



三協立山株式会社・三協アルミ本社(蒲原彰三社長)は、建築基準法に適合したパブリック向けサイクルポート「リンリンエース」を新発売した。

従来品「リンリンR」をリニューアルしたもので、積雪20cm仕様(風速34m/s相当)に加えて積雪30cm仕様(風速36m/s相当)を追加した。また前柱を不要にして自転車の出し入れをスムーズにした。

バリエーションは、前柱なしのオープンタイプ、側面パネル付きクロスタイプ、1本柱構造のY合掌タイプ。本体カラー3色。屋根パネルはポリカーボネート屋根、熱線遮断ポリカーボネート屋根、アルミ屋根(3色)。

参考価格：積雪30cm仕様、開口5742×奥行2000×高さ1800mm、ポリカーボネート屋根のオープンタイプ30万円。

大型引戸扉「ライディートN」「グラフェードN」リファイン発売

三協アルミ社は、公共施設用の大型引戸扉「ライディートN」と「グラフェードN」の2商品を



発売した。

コンパクト収納が可能なライディートNは、1型(笠木タイプP=100)、斜めからの視線をカットする2型(笠木タイプP=56)、侵入抑止効果が見込まれる3型(格子タイプH2000も用意)を揃える。基準風速Vo=34/s(1160N/㎡)。開口幅約3m~30mに対応。

ベシックなレール式の「グラフェードN」は、自走防止装置のハンドルと解除レバーを一体化した「新型引手」を採用し操作性を向上させた。1型(笠木タイプ)、2型(細格子タイプH2000も用意)、3型(太格子タイプ)、4型(たて目隠しタイプ)のバリエーション。1・2・3型は基準風速Vo=34/s(1160N/㎡)。

4型Vo=38/s(1242N/㎡)。開口幅約3m~20mに対応。

「未来のとびろコンテスト<大学生版>」の表彰式・ツアー開催



三協アルミ社は昨年12月14日、本社高岡ショールームで、「未来のとびろコンテスト2016<大学生版>」第2回学生デザインコンペ」の表彰式を開催した。

応募総数92作品の中から最優秀賞、優秀賞、審査員賞、三協アルミ賞を受賞した9名(8作品)が出席した。

蒲原社長は「将来の建築界を担う大学生の皆さんの作品のレベルの高さと発想の素晴らしさに非常に感銘を受けた。これからも未来の建築界に向け大きくはばたけるよう更に自分を磨いていただきたい。当社も作品に描かれたような未来に貢献できるような頑張りたい」と挨拶した。

受賞ツアーでは、三協アルミ射水工場、本社DI+smartNAV実験棟、さらに、今回の審査員長でもある建築家・西沢立衛氏の設計した「金沢21世紀美術館」を訪れた。

三和シヤッター工業

欧州・ノボフェルム製パネル、米州・オーバヘッドドア社開機採用の住宅用ガレージドア「キャンディネオ」



三和シヤッター工業(長野敏文社長)は、住宅用ガレージドア「キャンディネオ」を1月4日全国発売した。

「キャンディネオ」は、従来の木目調パネルのガレージドア「ウッディ」とアメリカンスタイルのガレージドア「キャンディ2」を集約しモデルチェンジしたものだ。

ウレタンフォーム充填パネルに欧州・ノボフェルムグループ製、開閉機に米州・オーバヘッド

ア社(ジニーブランド)を採用したオーバースライダータイプ。安全性と意匠性に考慮した納まり、指はさみ防止「ピンチレス構造」のパネル設定、床面から150mmと500mmの2所に光電センサを標準装備。反転上昇する負荷検知機能も標準装備。

パネルデザインはリブタイプと額縁タイプ。リブタイプは、ホワイト(木目エンボス)とゴールデンオーク(木目調)、オプションに明かり窓2種類。また額縁タイプは、ホワイト(木目エンボス)、オプションの明かり窓3種類。参考価格：1台用W2400×H2400mm、額縁タイプ・ホワイト、オプション明かり窓サンライズで87万8000円。

旭トステム外装

金属外装材の新柄「ベリッドライン」「ルシェロ」、窯業系外装材「カーディナル」の新柄「ノエGVZ」など新発売

旭トステム外装(糸生秀人社長)は、金属外装材「Danサイディング」スチール深絞りシリーズから新柄「ベリッドライン」「ルシェロ」、また、単色ビーズ塗装品「ティエラSF」、フッ素鋼板単色ビーズ塗装品「スレンダーラインBF」、さらには、塗膜20年保証シーリングレス工法の窯業系外装材「カーディナル」シリーズから新柄「ノエGVZ」を、それぞれ2月1日全国発売を開始した。

新柄「ベリッドライン」は、細いブリックをところどころに分割させた複雑な段差で繊細な陰影をつくる極細石積柄。iD塗装品の「ベリッドラインSF」(2色)、「ベリッドラインSX」(3色)、単色マット塗装品「ベリッドライ

ン」(3色)を用意。iD塗装品の「ベリッドラインSF/SX」には、表面に繊細な布目模様を塗装した独特の風合いのファブリック調カラーも揃えた。

新柄「ルシェロ」は、定番のくしびき柄に、ランダムな太さでより個性的な陰影を持たせ、リブや半橋門のアクセントを設けた意匠。単色ビーズ塗装品「ルシェロSF」(2色)、単色マット塗装品「ルシェロ」(4色)を用意。

また、「ティエラSF」は、単色ビーズ塗装を採用し砂まき風仕上げの深い風合いに仕上げられた積石柄デザイン。セルフフッ素コートをした塗膜15年保証対応品。

「スレンダーラインBF」は、高低差をつけたピースによる陰影や繊細な肌を表現した意匠が特長の細石積柄。フッ素塗装鋼板を採用した塗膜10年保証付。



さらに、窯業系外装材「AT-WALL」の最上位商品「ガーディナル」シリーズから、18mm厚の高級感にあふれる本格石積柄「ノエGVZ」を新発売した。重厚な濃色から淡色の4色。

本体の三辺合いじゃくり加工し専用ジョイント部材「カンシくん」と合わせて施工しシーリングレス工法を実現。セルフクリーニング機能付き塗料「セルフフッ素コート・EXE」を採用し、業界最長の「塗膜20年保証」を実現した人気のサイディング商品。

特集1: リモコン電動を軸に電動化率アップを進める「スクリーン型窓シャッター」
「スリット型電動シャッター」「外付ブラインドシャッター」

断熱Ⅲ地域以南向けのコストパフォーマンスに優れた「アルミ樹脂複合窓」が高断熱化を推進するポイント

日本サッシ協会の調査によると、「窓シャッター・雨戸」の取付戸数比は、全国平均62.2%と減少傾向にある。地域別みると、近畿圏87.4%、関東圏83.1%、九州圏75.7%、中部圏70.6%とそれぞれ高い取付率だが、四国圏32.5%、中国圏16.2%、東北圏6.6%、北海道圏1.6%、北陸圏1.1%はかなり低い。

「窓シャッター・雨戸」は、主に防風雨、防犯対策として採用されることが多く、台風通過地域の九州圏、防犯対策の近畿・関東・中部圏を主なターゲットとしている。こうした地域限定商品の性格を打破し、新たな「窓シャッター・雨戸」の需要を開拓することがテーマとされてきた。

現在の「窓シャッター」と「横引雨戸」の販売比率は8対2と、とくに新築住宅では「窓シャッター」の採用率がきわめて高い。住宅外観のシンプルモダンスタイルや都市部の狭小地住宅の増加が、「窓シャッター」を定番商品に押し上げてきた経緯がある。

住宅用窓シャッターは、スクリーンタイプの一般窓シャッターを主力に、スリット型アルミ電動シャッター、ルーバー型ブラインドシャッターで市場形成されている。住宅用窓シャッターには、これまでの耐風雨、防犯性にとどまらず、利便性(操作性)、省エネ(遮熱・遮光)、快適さ(通風・採光)といった新しい機能が求められつつある。何よりも2020年省エネルギー基準適合やZEHの普及が進められている中で、省エネに貢献する開口部商品のひとつとして期待が寄せられている。

その意味でも、一般窓シャッターの電動化率の向上、採風・採光機能をもつスリット型電動シャッター、ルーバー型ブラインドシャッターの認知度のアップが業界共通のテーマとされる。

「横引雨戸パネル」約74万枚と減少続く、リフォーム需要向けにシフト

各アイテムの販売傾向をみていく。2015年度「横引雨戸パネル」の販売数は約74万枚と推定され

る。依然として減少傾向が続いており、販売全体の40～50%がリフォーム需要と推定される。大手サッシメーカーは横引雨戸→横引雨戸の取替えが比較的好いようだが、大手シャッターメーカーは横引雨戸から窓シャッターへの転換をメインとしている。

メーカー別の販売数をみると、LIXILが約40万枚、YKKAPが約24万3000枚、三協立山が約7万7000枚、三和シャッター工業が約2万枚と推定される。

一般窓シャッター(カーテンタイプ)販売数約150万8000台と減少、電動タイプの拡大で高機能化を進める

2015年度の「一般窓シャッター(カーテンタイプ)販売数は約150万8000台と、前年度比5%減少した。アルミサッシの防火対応としての需要が一段落したことが主な要因とみられる。

「一般窓シャッター」には、スチール製とアルミ製、サッシ一体枠タイプと後付タイプ、標準・耐風・耐火の各タイプ、手動タイプと電動タイプのバリエーションがある。いまの主力タイプであるスチール製窓シャッターは、防風雨・防犯対策、コスト競争力をセールスポイントに市場を席捲している。

メーカー別にみると、LIXILが約51万台、YKKAPが約46万5000台、三和シャッター工業が約22万6000台、三協立山が約15万5000台、文化シャッターが約15万2000台と推定される。一体枠タイプをもちいた三和シャッター工業、文化シャッターの2社が、シャッター専門企業の強みを活かして一定のシェアを堅持している点が注目される。

また、スリット型電動シャッターとブラインドシャッターを含めた窓シャッターの電動化率において、文化シャッターと三和シャッター工業が販売全体の約25%に達しているのに対して、三協立山、LIXIL、YKKAPが10%程度にとどまっている。これは「動く建材」を扱うシャッター企業では当たり前のメンテナンス体制の差にあるようで、一体枠タイプなしに窓シャッター市場での影響力を発揮する大きな理由といえそうだ。

「窓シャッター」は新築住宅向けの定番商品となった。1棟あたりの窓シャッター取付数は1階リ

ビング、居室を中心に多くても3～4セットにとどまっている。戸建住宅の総窓数は15窓～20窓であることを考慮しても、採用部位の拡大には限界がありそうだ。ただ、比較的好いおきいテラス戸には、朝夕の開閉の煩わしさから開放されるためにも電動タイプの採用が不可欠で、開口部のバリアフリー商品として扱える。

また、窓シャッター電動タイプは高付加価値化商品としても期待される。すでに文化シャッターは、HEMSサービスと連携し、外出先からスマートフォンやタブレットを使って、電動窓シャッターを操作できる「マドマスター・スマートタイプ」を発売、普及に取り組んでいる。こうしたソフト開発が、窓シャッターの電動化をサポートするとおもわれる。

「スリット型アルミ電動シャッター」販売数約1万8400台、「アルミブラインドシャッター」2000台と低調

「スリット型アルミ電動シャッター」は、スクリーンタイプに採風・採光機能を付加した高機能タイプ。「アルミブラインドシャッター」は、ルーバー角度を自在に調整し、光や風をコントロールする窓シャッターの最上位機種。

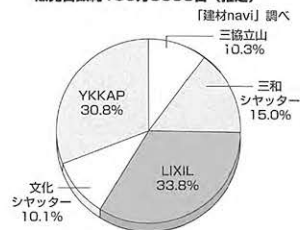
これら的高機能商品は、スチール製窓シャッターに比べて格段の違いの高額商品であることが普及を阻んでいる。そのため採風・採光機能をもったリーズナブルな商品の開発が待たれる。

そうした中で、LIXILは新構造フラップラットを搭載した「エアリスマルチ電動」を発売した。スリット型とブラインド型を融合した商品だが、従来のスリット型アルミ電動シャッター「アリーズ」の進化形として注目される。

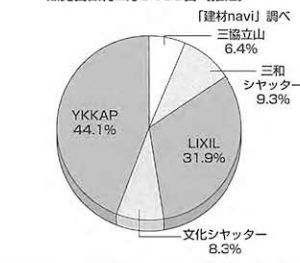
2015年度「スリット型アルミ電動シャッター」販売数は約1万8400台と推定される。YKKAPが約8000台、LIXILが約6500台、文化シャッター工業が約900台と推定される。

一方、「アルミブラインドシャッター」は、YKKAPと三和シャッター工業が、それぞれ約1000台と推定される。YKKAPが、従来品をモデルチェンジし、窓の日射遮蔽対策を重視したリモコン外付ブラインド「X-BLIND」を新発売した。新築とリフォームに対応、とくに樹脂窓「APW330」

2015年度 一般窓シャッター市場販売台数約150万8000台(推定)



2015年度 スリット型およびブラインド型販売台数約2万0400台(推定)



「APW430」との組み合わせた高い省エネルギー効果を見込んでいる。

三協立山

シャッター付サッシ「メルフィーナ」スチール手動タイプを主力に新築に対応、スリット型電動タイプに期待

【商品構成】■一般窓用シャッター——◆シャッター付サッシ「メルフィーナ」スチール手動・電動タイプ:普及タイプ。電動タイプ(操作スイッチ・リモコン操作タイプ)。◆シャッター付サッシ「ラクフィーナ」簡易電動タイプ:廉価タイプ。操作棒によりブラインド感覚で簡単に開閉操作が可能。

■スリット型電動シャッター——◆シャッター付サッシ「メルフィーナ」アルミ電動タイプ:操作スイッチやリモコン操作により採光・通風が可能。高機

能窓シャッター。

【最近の動き】窓シャッターと横引雨戸の販売比率は78対22と、横引雨戸がリフォーム需要を中心に依然として20%台をキープしている。主力商品はシャッター付サッシ「メルフィーナ」スチール手動タイプ。その内、「サッシ一体タイプ」が販売全体の96%を占めている。リフォーム向けと考えられる「後付タイプ」は僅か4%に過ぎない。

新築住宅向けには、1棟あたりの窓シャッター取付数が2セットと少ない、その取付数の拡大に取り組んでいる。また、1階リビングに取り付けられるケースがおおいが、電動タイプの取付率は10%弱にとどまっている。

電動タイプには、一般スチール電動タイプとブラインド感覚で操作できる簡易電動タイプ、スリット型電動シャッターを品揃えている。電動タイプは、冬の寒い時期や高齢者によるシャッター操作のわずらわしさを解消できるメリットを活かした展開が期待されている。

三和シャッター工業

窓シャッター「マドモア」「HEMS仕様」新発売、通風・採光を自在に調整できるブラインドタイプに搭載

【商品構成】■新商品——窓シャッター「マドモア」「HEMS仕様」：2016年4月からパナソニックの「スマートHEMS」と連携し、パナソニックの「スマートHEMS」専用モーターに加え、スマートフォンやタブレット端末などにより、宅内の離れた場所から電動窓シャッターを個別および一括での開閉操作が可能。業界初のブラインド機能搭載タイプ「マドモアブラインド」対応をはじめ、「マドモアスリットW」「マドモアスクリーンS」「マドモアスクリーンG II」を品揃えている。

◆窓シャッター「マドモアスクリーンG II換気タイプ」：シャッターカーテン下部に換気孔のスラットを配置した省エネ貢献商品。電動タイプ・手動タイプ、通風タイプとしては、「マドモアブラインド」「マドモアスリット」につづくものでリーズナブルな価格が特長。

■商品バリエーション——◆「マドモアブラインド」通風・採光を自在にコントロールできる最上位機種。電動タイプ（先付、木造・RC造）と戸建住宅の既窓に設置可能な手動タイプ（先付、木造）を用意。

◆「マドモアスリットS」：スラットの通気孔から風を取り込むタイプ。◆「マドモアスリットW」：大開口対応タイプ。単窓最大4m・連窓最大6mまで設置可能。中柱設置で8mまで可能。

◆「マドモアスクリーンSソーラータイプ」：シャッターケースに取り付けたソーラーパネルによる太陽光発電でシャッター開閉するオリジナル電動タイプ。◆「マドモアスクリーンSメッシュスクリーン内蔵仕様」：夏場にサッシ全面を覆い日射遮蔽効果を高める効果がある新タイプ。◆「マドモアスクリーンS」：スタンダードタイプ。サッシ枠最大幅85mmまで対応。電動タイプ・手動タイプ。◆「マドモアスクリーンG II」：天井込寸法が小さいすっきりした納まりが特長。サッシ枠最大幅42mmまで対応。◆「マドモアチェンジ」：手動窓シャッターでリモコン操作の電動タイプにリニューアルする。木造・RC造・ALC造。

【最近の動き】スチール製スラット採用「マドモアスクリーン」のスタンダードタイプを主力商品に展開する。「マドモアスクリーン」のソーラータイプやメッシュスクリーン内蔵仕様につき、パナソニックの「スマートHEMS」と連携した「HEMS」仕様を発売するなど、窓シャッターの高付加価値化、高機能化に重点を置いている。

「マドモア」HEMS仕様は、業界唯一の商品バリエーションを誇るスクリーンタイプからスリットタイプ、ブラインドタイプまで幅広く対応していることが特長。

販売傾向をみると、窓シャッター取付台数は1棟あたり3〜4台で、スチール製スラット仕様の「マドモアスクリーン」が圧倒的におおい。ソーラータイプ、遮光・遮熱タイプにつづき換気タイプを発売して、高機能・高付加価値化を進めている。また、スリットタイプ、ブラインドタイプを含めた電動化率は、販売全体の約25%を占める。

文化シャッター

業界初の電動窓シャッター「マドマスター・スマートタイプ」、外出先から窓シャッターの開閉をコントロール

【商品構成】■HEMSの標準通信規格であるECHONET Liteに準拠した業界初の電動窓シャッター「マドマスター・スマートタイプ」——◆2016年4月1日三菱電機製の三菱HEMS「HM-ST03」と連携、スマートフォンを使って宅外から窓シャッターの開閉状況の確認、開閉操作を実現。

◆2015年6月1日からパナソニック製「スマートHEMS」の中核機器である「AiSEG」と連携開始。昨年9月21日「スマートHEMS サービスアプリ」の機能を拡充、遠隔制御サポートとして宅外から住宅設備機器を操作できるサービスを開始した。これにともない宅内のみに限定されていた電動窓シャッターの操作が外出先からスマートフォンを使って操作できるようになった。

また、手持ちのスマートフォンに文化シャッター専用アプリケーションをインストールして、宅内の電動窓シャッターの1台ごとの「個別操作」、最大32台まで「一斉操作」ができる。さらに「半開操作」や、多機能タイマーによる「おこのみタイマー」「おひさまタイマー」「メール状態通知」などの設定も可能だ。

◆2016年10月31日から東日本電信電話のHEMSサービス「フレックシブル・ミルエネ」と連携し、外出先からスマートフォンを使って個別に電動窓シャッター操作が可能になった。複数台の「一斉操作」やタイマー制御機能は今年2月からスタートする予定。◆電動窓シャッター用「ワイヤレスタイマースイッチ」：第10回キッズデザイン賞を受賞。

■リフォーム対応商品——◆雨戸後付電動窓シャッターリフォーム「ヨコタテ」（既存の雨戸を取り外すことなく1日で電動窓シャッターにリフォームするオリジナル工法。開口2間・戸板4枚まで中柱のない1連で対応。ワイヤレススイッチ標準装備）。◆電動化リフォーム「オートマンミニ」（自社手動窓シャッターを電動タイプに変更する）。

■住宅用窓シャッター「マドマスター」シリーズ——◆後付タイプに木造「マドマスターアップ」/マドマスターリードBA（CP仕様）/室内側取付「マドマスタールーマ」（出窓対応の電動・手動タイプ。アルミ樹脂目調スラット仕様・スチールスラット仕様）。◆先付タイプに「マドマスターリード」/マドマスターリードBA「マドマスターワイド」（電動タイプ、換気・採光モデル、開口幅4000mmに対応）/「マドマスターALC・RCリード」/「マドマスターALC・RCリードBA」。◆後付・先付タイプに「マドマスターアップ/マドマスターリード」パンチングモデル（アルミ形材製パンチングスラット仕様）。

【最近の動き】HEMSに対応した住宅用電動窓シャッター「マドマスター・スマートタイプ」は、外

出先からスマートフォンで窓シャッターの開閉をコントロールできる新タイプ。スチール製スラットのスタンダードモデルを主力に展開される窓シャッターの高付加価値化商品として普及を進めている。

「マドマスター・スマートタイプ」は、後付「マドマスターアップ」、後付・先付「マドマスターリード」の換気・採光モデル、パンチングモデル、スタンダードモデル、さらに「マドマスターワイド」の換気・採光モデルに対応する。

販売傾向をみると、防犯・防災機能をもつスタンダードモデルが販売全体の大多数を占める。このタイプの高付加価値化を進める電動化率は、業界トップの約25%をキープする。

「マドマスター・スマートタイプ」の普及は、更なる電動化率のアップに加えて、多機能タイマー機能で自然の光や風を氣候条件、時間に応じて取り入れることができる通風・採光モデルの拡大を後押しすることが見込まれる。

一方、リフォーム需要は、既設の横引雨戸を窓シャッターへ取り替える電動窓シャッター「ヨコタテ」、手動窓シャッターを電動タイプにリフォームする「オートマンミニ」を中心に展開し、販売全体の約25%を占め、さらに拡大傾向にある。

LIXIL

新構造「フラップスラット」を搭載したアルミ探風・採光シャッター「エアリス マルチ電動」を新発売

【商品構成】■新商品——◆住宅用窓シャッター「エアリス マルチ電動」：スリット型電動シャッターとブラインド型電動シャッターを融合した新構造「フラップスラット」を搭載した業界初の住宅用窓電動シャッター。「フラップスラット」は、羽根を開閉させることで、直射日光を遮り、プライバシーを守りながら風と光を室内に採りこむことができる。

従来品に比べて、一般複層ガラス仕様の「フラップスラット」全開時には、採風面積約3倍、採光量約2倍、太陽熱約86%カットと高い省エネ効果を実現する。また、「フラップスラット」がワンタッチで開く「採風ボタン」、1つのリモコンで複数台操作が可能な「チャンネルボタン」、設定時刻に自動開閉する「タイマーボタン」などを搭載したタイマー付リモコンを標準装備する。無線リモコンのため配

四国化成工業

「アートウォール seed」/「アートウォール modern」
軽量な本体構造で安全性に配慮した新しい外構商品



■「アートウォール seed (シード)・アートウォール modern (モダン)」—ブロックでもフェンスでもない安全性に配慮した新しい外構商品。個人住宅から商業施設、公共施設までカバーする。本体構造が、120mm厚仕様でコンクリートブロックの約14分の1と軽量なことが大きな特長。倒壊時の危険を最小限に抑え、工期の短縮を実現した。

本体重量:「アートウォール seed」60mm厚塗り壁仕上げ12kg/m²/同120mm厚仕上げ17kg/m²。「アートウォール modern」120mm厚アルミパネル仕上げ17kg/m²/同木質樹脂仕上げ及びサイディング仕上げ38kg/m²。いずれも最大高さ2400mmまで控え柱なしで施工できることも特長。

「アートウォール seed」は、塗り壁仕上げ吹付け仕上げ(パレットHG)標準76色、樹脂シート、石材シート、タイルを用意。本体パネルに曲線タイプも用意。

「アートウォール modern」は、アルミパネルカラー2色×デザイン6種類の12パターン。木質樹脂カラー4色×縦張り・横張りの8パターン。サイディング8種類を用意。

戸建住宅/集合住宅向け「ゴミストッカー」

■戸建住宅/集合住宅向け「ゴミストッカー」—マンションやアパート、ビルや商業施設から毎日発生する大量のゴミを、カラスから護り、ゴミの臭いを防いで街の景観を保全するシコクのごみ集積庫。

大型集合施設向けの45ℓ袋380個タイプから戸建住宅用4個タイプまで圧倒的な商品バリエーションでリードする。

耐久性に優れ、サビにも強く、汚れ落としも簡単なアルミ素材を主力に、木の風合いの木樹脂タイプや中身が見えるメッシュ構造のステンレスタイプも用意。

医療・商業施設・ビル向けのアルミ製大型引戸「スタックライン」

■医療・商業施設・ビル用向け大型引戸「スタックライン」—アルミ材製の軽量構造で有効開口3.0mから両面36m、高さ1.2mから1.8mまでサイズ対応。最大の特長は本体を重ね合わせるコンクリート収納構造。

「スタックラインAシリーズ」: 開口3.0mから30m、高さ1.2mから1.8mまで対応。パネルデザイン4種類、電動タイプ。先端部にレールのないパリアフリー対応「スタックラインAシリーズ」: 開口3.0mから36m、高さ1.2mから1.8mまで対応。パネルデザインの5種類、セキュリティに配慮した電気錠用意。

三協立山

「ノバリス」リフォーム
玄関ドア、本木に近い
木目玄関ドアなど用意

■「ノバリス」リフォーム玄関ドア—カバー工法で既設枠を残したまま1日の工事で新たな玄関ドアに取替えることが可能。人気の本木に近い木目の玄関ドアや施工性に配慮した様々な施工・工事中にメリットのある仕上げタイプまで圧倒的な商品バリエーションでリードする。

集合住宅向けの改装用サッシ「HOOK SLIM」
ローコストで改装実現

■集合住宅向け改装用サッシ「HOOK SLIM」—居住性、省エネ(ECO)、ローコストをかなえる住まいのグレードアップを目的にした改装用サッシ(カバー工法)。広い眺望、スリムな見付のすっきりとした外観意匠、空気層12mm複層ガラス仕様の高い断熱性能などが特長。工期短縮・入居者の工事中の負担を軽減するノンシール工法を採用。マンション等でベランダのない場所でも安心してガラス掃除ができる「障子内内はずしタイプ」も用意。

線工事が不要で、リフォーム工事や手動から電動へのグレードアップにも対応する。

■銅板窓シャッター—◆「イタリヤ」(ボックス3タイプ。マルチ電動・リモコン電動・手動の各タイプ。カラー6色)。◆「イタリヤEZ」(操作棒をブラインド感覚の操作で開閉する簡易電動タイプ)。◆「イタリヤミニ」(小窓専用窓シャッター)。

■耐風アルミ窓シャッター「クワトロ」(ボックス2タイプ。手動タイプ。自動旋錠、ソフトストップ機構、マグネット付き操作も、左右どちらからでも操作可能な解錠レバー等)。

■シャッター付引違い窓「サーモスX」/「サーモスII-H」/「サーモスL」/「シフォニーウッディ/マイルド」/「デュオPG」などの各シリーズ—◆銅板窓シャッター「イタリヤ」、採風・採光シャッター「エアリス マルチ電動」、耐風アルミシャッター「クワトロ」等。

■リモコンシャッター(1dayリフォーム)—◆リフォーム枠「イタリヤ」/「エアリス マルチ電動」/「クワトロ」等の各シリーズ。

【最近の動き】銅板窓シャッター「イタリヤマル電動タイプ」に加え、アルミ採風・採光シャッター「エアリスマルチ電動」を新発売、ユーザーの電動シャッター志向を後押しする。「マルチ電動タイプ」のバリエーション化を通じて、いまのところ販売の10%程度にとどまる電動タイプの拡大を目指している。

窓シャッタースタイルと横引両戸スタイルの販売比率は8対2と推定される。横引両戸の半分はリフォーム需要に対応している。窓シャッターの場合、一体枠タイプと後付タイプの販売比率は8対2で、後付タイプをリフォーム向けと想定してもリフォーム需要はまだ少ない。

窓シャッターは、シャッター付引違い窓を主力にしているが、1棟あたりの平均的な取付数は4セット程度と推定する。窓シャッターの耐風・防犯・防火機能を活かし、取付数の拡大をめざしている。

YKK AP

日射遮蔽対策に最適なリモコン外付
ブラインド「X-BLIND」新発売
省エネ効果の高い快適な住環境実現

【商品構成】■新商品—◆リモコン外付ブラインド「X-BLIND(エクストラインド)」:2020年省エネルギー基準適合義務化やZEHの普及を

意識し、窓の日射遮蔽対策に重きを置いた窓シャッターの最上位機種。

特長は、ルーバー角度90度の設定で日射熱を85%カットし、夏場の冷房効果をアップできること。また、リモコン操作により自由にルーバー角度を調整でき、通風、採光、視線のコントロールが可能。遮蔽物のない場合と比べ、ルーバー角度90度で94.3%の換気量を確保する。

外壁の上から取り付ける仕様でリフォームにも対応。リモコン操作のため、壁スイッチ工事が不要でリフォーム工期も短縮できる。

■一般窓用シャッター(スチール製スラット、一体枠仕様・分割枠タイプ)—◆リモコン電動シャッター:標準・耐風(耐風圧1200Pa)・防犯(CP対応)の各タイプ。◆電すけ:普及価格帯のスイッチ型電動シャッター。◆手動シャッター:標準・耐風・防犯の各タイプ。◆小窓専用手動シャッター「内部操作シャッター」:室内側の操作用ボールチェーンで開閉操作。

■スリット型電動シャッター(アルミ製スラット、一体枠仕様・分割枠タイプ):採光・採風が可能なスリット型窓シャッター。壁付スイッチの必要がないリモコン電動仕様。

【最近の動き】スチール窓シャッターを主力商品に、高機能商品のアルミスリット型電動シャッター、リモコン外付ブラインド「X-BLIND」をスタート展開する。とくに、樹脂窓「APW330」/「APW430」と組み合わせられる「X-BLIND」は、省エネで快適な暮らしの実現をサポートする最上位の窓シャッターとして注目される。

窓シャッタータイプと横引両戸タイプの販売比率は9対1と、窓シャッターへのシフトが進められた。横引両戸は販売全体の60%がリフォーム需要に支えられている。今後も潜在的なリフォーム需要への対応が主体になりそうだ。

窓シャッターの一体枠タイプと分割枠タイプは、9対1の販売比率。1棟あたりの取付数は2~3セットと推定する。1階リビング、居室への採用がおおい。この内、電動タイプの取付率は10%程度にとどまっている。

リモコン操作による楽々開閉、あるいは採風・採光のコントロールなどにより、快適なライフスタイルを実現する「電動タイプ」の認知度をあげることに取り組んでいる。

テラス・バーゴラ「ナチュレ」、ガーデンフロア・人工木デッキと組合せ落着いた空間創造



■テラス・バーゴラ「ナチュレ」——木の素材さと温もりを感じる木目調テラス・バーゴラ。木組み風デザインとナチュラルな風合いを演出する「木調色」3色。

屋根パネルありの「テラスタイプ」と屋根パネルなしの「バーゴラタイプ」。壁付け・壁寄せ・独立の各納まりを設定。木調色の目隠しスクリーンやガーデンフロア「ラステラ」、人工木デッキ「ひとと木2」と組み合わせ、自然な木調仕上りの落ち着いたアウトドア空間を創造する。

後付樹脂内窓「プラメイクEⅡ」、断熱性・防音性・防犯性向上

■後付樹脂内窓「プラメイクEⅡ」——既存の内側に樹脂内窓を取り付け、二重サッシにすることで開口部の機能をアップする。具体的には、カビ・ダニの発生を抑制する結露の軽減、断熱性・防音性・防犯性を向上させることができる。

簡単・早い・明朗「リクシルPATTOリフォーム」リフォーム玄関ドア「リシेंट」／リフォームガラス「インプラス」から小規模リフォーム需要創造をめざす



■簡単・早い・明朗「リクシルPATTOリフォーム」——昨年10月からメーカー・流通店・施工店が一丸となり小規模(50万円以下)リフォーム需要の創造をめざす新プロジェクトを始動。「TORI(トリ)」、「KAERU(カエル)」のオリジナルキャラクターによるテレビ・ラジオCM、Webサイト、交通広告、店頭などでプロモーションを展開している。

□対象商品——◆簡単リフォーム玄関ドア「リシेंट」: 玄関扉がボロボロ、防犯が不安、夏の日射・冬の日寒が気になる。昼間でも薄暗いといった悩みを、僅か1日の玄関リフォーム工事(壁を壊さず既存の枠の上に取り付けるカバー工法)で解消できることがセールスポイント。

42サイズの玄関ドア、玄関引戸、勝手口ドアから自由に選択できる。玄関ドアには一般地域向け、採風タイプ、寒冷地向けなど豊富なバリエーションを用意。オプションに「カズエプラス」「タッチキー」も用意。「玄関ドアコンシェルジュ」がインターネットで要望に合わせた提案を行なうサービスも実施している。

◆簡単リフォーム内窓「インプラス」: 窓辺の結露を軽減しカビ・ダニの発生を予防、断熱・省エネ効果で冷暖房費を軽減、遮熱効果で夏場の日差し・紫外線をカット、さらに防音効果もある、最短1時間の窓リフォーム工事。小窓・中窓・大窓のこども部屋、和室、浴室、リビング向けの各種の引違い窓・FIX窓・開き窓。平板ガラス・Low-E複層ガラス・和風格子入り複層ガラス・ブラインドン複層ガラスなどの豊富なバリエーションを用意する。

日本家屋の軒空間を再現したガーデンルーム「エクシオールジーマ」内天井採用

■ガーデンルーム「エクシオールジーマ」——日本家屋が備えていた軒空間をガーデンルームで再現した新タイプ。本体屋根の下にアルミ樹脂複合板(3mm厚)による内天井を採用した「軒ルーフトタイプ」をラインアップした。オプションに夜間シーンを演出する内天井「ダウンライト」を用意。植栽をライティングする「エクステリアライト」とも組み合わせもできる。

フルオープン・フルクローズ機構の新戸フレームは、高強度の細フレームを採用しスリム化、従来タイプよりもガラス面積を12%広げて眺望性を高めた。「軒ルーフトタイプ」のルームタイプ・テラスタイプ、「軒フラスタイプ」の採光ルーフトタイプ。

連続ガラスの美しいアルミガラス手すりを実現・新型細堅枠手すり【M25/M2S】



■新型細堅枠手すり【M25/M2S】——シャープで連続ガラスに限りなく近づけた美しい手すり意匠を実現する新型細堅枠手すり【M25/M2S】を新開発。持ち出し系アルミ手すり【ViewX】シリーズと、シングル配筋対応の高強度・高性能アルミ手すり【Forte】シリーズに追加、好評のアルミガラス手すりのバリエーションを充実させた。

追加商品は、手すり見付幅25mmの「ViewX-M25」／「Forte-M25」と、同30mmの「ViewX-M2S」／「Forte-M2S」の計4タイプ。それぞれに堅枠の見付幅が重厚感のある25mmと、細見付のシャープさを生かした18mmの2種類を用意。

特長は、連続ガラスのデザイン性と4辺支持フレームの構造を採用した高い耐風圧性能を実現したこと。同時に、笠木を脱着せずに内部側からガラスを入れる安全で確実な施工方法。

カラーバリエーションは、「ViewX-M25」【ViewX-M2S】にツヤ消しシルバー、ステンカラー、アバングレー、ダークブロンズ、ツヤ消しブラックの5色。「Forte-M25」【Forte-M2S】にツヤ消しシルバー、ステンカラー、アバングレーの3色。

戸建住宅用窓リフォーム商品「かんたんマドリモ」防水シーリングを使わない業界初の「ノンシールカバー工法」実現、既設窓のメーカー問わず取付可能



■戸建住宅用窓リフォーム商品「かんたんマドリモ」——窓・ドアのリフォーム工事では、足場が不要で外壁・内壁を一切壊さず、既存の窓枠の上に被せるカバー工法が採用されている。新商品の「かんたんマドリモ」はカバー工法でありながら、防水シーリングを使わない業界初の「ノンシールカバー工法」(特許出願中)を実現したことが特長。

接着テープ付きの気密シートを標準装備し、シーリング作業を省き、シーリングの施工品質に頼らない安定した止水性能を実現できるので、施工業者、生活者にとっても簡便で負担の少ない窓リフォーム新工法。

特長は、①足場や外壁工事不要で、施工時間100分～半日で最新の樹脂窓へリフォームできる。②現場に応じて室内・室外施工を選択できる。③既設窓のメーカーやシリーズを問わず取り付けが可能なこと。

交換する窓は、トリプルガラス樹脂窓「APW430」、高性能樹脂窓「APW330」、アルミ樹脂複合窓「APW310」、アルミ窓「エイピア」などをフルラインアップ。生活者の住まいにおける暑さ・寒さ・結露の悩みを解決できる高性能窓を用意している。

コンクリート工事不要のアルミ四方枠耐震フレーム「FRAME+G2」工事期間2日間

■窓を活かした新耐震商品「FRAME+G2」——業界初のコンクリート工事不要のアルミ四方枠耐震フレーム(特許出願中)。既存基礎に対してアルミ下枠をスチール金物で固定する「乾式」タイプで、住みながら屋外から耐震リフォーム工事を行なえる。

従来のアルミ三方枠体震フレーム「FRAME+」(湿式)のように新設基礎の打設が必要ないため、工事期間を従来の約2～3週間から僅か2日間に短縮した。工事費用も約150万円から約100万円に約30%プライスダウンしている。工務店、リフォーム店だけでなく、エクステリア事業者も扱えることも特長。

高級住宅向けエクステリア商品群を充実

■高級住宅向けエクステリア商品——◆「XTIARA」シリーズ: アルミ形材製の門扉用屋根「アーチ」・ピタットKeyシステム電気錠付門扉」・ステンレスグリンシャッターカーポート一体型シャッター付きカーポート等。◆「SHALONE」シリーズ: アルミ鋳物製門扉・フェンス、鋳肌風合いアップゲート等。

三協立山

グッドデザイン賞受賞「ARM-S 外動片引き窓」
「ARM-S 外動片引き窓」
「iS-100 片引き窓」

■2016年度グッドデザイン賞受賞—◆高性能省エネサッシシステム「ARM-S 外動片引き窓」
「ARM-S 外動片引き窓」：スリムな召し合せ 25mm の隠しかまちタイプ、最大 H3000 大開口への対応可能な召し合せ 35mm タイプ。【「コーナーオープン窓」は障子開放時にコーナー部のサッシのフレームがなくなり、今までにない開放感を実現。「外動片引き窓」も用意。◆「iS-100 片引き窓」：四方隠しかまちタイプ。すっきりとした内観で上質感と開放感を演出。障子戸先には有孔開口 110mm まで対応するアコーディオン網戸をビルトイン。

■ビル用—◆マンション改装用玄関ドア「ラポート」：カバー工法。ドア下部の通風口として換気装置（防火対応）を用意。◆アルミ手すり「FINE MASTER」：意匠性向上に加え、ねじ・ボルトのゆるみ防止構造やガラス交換などメンテナンス時の利便性、安全性に配慮。◆ビル用外装材「外壁改修用スパンデル」：タイル落下防止、外観リファインに対応。遮熱型フッ素樹脂塗装を標準設定。◆「ロフスパネル」：メタリックな質感の樹脂とアルミの複合パネル。軽量で省エネ効果も期待できる。◆「太陽電池一体型目隠しルーバー」：たて型・よこ型タイプ。

寺岡オートドア

多機能トイレ用自動ドアスイッチ「MFS-1」4ヶ国音声版
最新の多言語音声案内システム搭載



■多機能トイレ用自動ドアスイッチ「MFS-1」4ヶ国音声版
／多言語音声案内システム「VNIN」(台板内蔵型)・「VNIS」(壁面外付けBOX型)—人に優しいデザイン性と、使いやすさ、分かりやすい機能性を融合した新しい形の多機能トイレ用多言語スイッチ「MFS-1」に、多言語音声ガイダンス機能が追加された最新多機能トイレ用自動ドアスイッチ。

従来のパネル部LEDの発光・音による使用可能状態→使用開始→使用中→使用終了→使用後ドア閉鎖の一連の動作確認機能に、多機能コントローラーに接続された「VNIN」・「VNIS」から、日本語・英語・中国語・韓国語の「音声ガイダンス」が語間3秒間隔で流れる機能を追加したもので、トイレ未使用状態やドアの開閉、緊急時などの対応がアナウンスされる。また、流れる言語の順序や新たな言語の追加などを自由に設定できることも特長。訪日外国人に対応する最新の多言語音声案内システム搭載多機能トイレ用自動ドアスイッチとして、空港やターミナル駅を主な対象に提案・受注活動を強めている。

ハンズフリー入退室管理システム「テラオカ すいすいスルース&M」

■ハンズフリー入退室管理システム「テラオカ すいすいスルース&M」—タグを携帯しドアに近づくだけで自動ドア認証する入退室管理システム。医療・福祉施設、工場・倉庫、マンションなどのセキュリティ機能を向上させると共に、ユーザーの利便性を高められることが大きなセールスポイント。

「すいすいスルース」は、ハンズフリーアクセスとタッチアクセスの2つの認証モード。「すいすいスルースM」が、ハンズフリーモード・手をかざすセンサーモード・アンテナ認証範囲内でタグボタンを押すボタンモードの3つの認証モード。

「Fire Door 耐熱ガラス入りテラオカ特定防火設備」

■「Fire Door 耐熱ガラス入りテラオカ特定防火設備」—自動ドア・扉・ステンレスフレームなどで構成されるビルエレントランス・開口部製品の一括受注に不可欠の特定防火設備。

「自動ドア防火戸」片引き4機種・両引き3機種、「手動防火戸」片引き2機種・両引き2機種、「FIX」2機種と、業界屈指のパリエーションを誇り、大規模商業施設やオフィスビル、病院などの大型物件を中心に施工実績を積みあげている。

L I X I L

ビル用高断熱ハイブリッド窓「PRESEA」/熱・気貫流率 1.90W/m²・K



■ビル用高断熱ハイブリッド窓「PRESEA (プレセア)」—マンションやオフィスビル用で断熱性能 H-6 (中空層 16mm 以上・Low-E 複層ガラス使用時の熱貫流率 1.90W/m²・K) と美観性を両立させた中高層ビル用アルミ樹脂複合窓。

特長は、窓フレームを約 50% スリム化したスマートなデザイン。ガラス面積を約 30% 拡大したことによる眺望性の良さ。クレセントなどの機能部品に長期間使用可能な普遍的デザインの採用。また、ボールベアリング戸車を採用し、開閉力を 30% 軽減し大型テラス窓の軽快な操作性を実現。

基本性能は、耐風圧性 S-6 (15 階建てマンション相当)、気密性 A-4、水密性 W-5、遮音性 T-2・T-3 (防音あわせ複層ガラス使用時)。

窓種は、引違い窓、片引き窓、両袖片引き窓、たてすべり出し窓、たてすべり出し窓非常用進入口、FIX窓、排煙突き出し窓、一般ドア等。内観色にメタリック調スパテンカラー、シルバー、壁紙に馴染むプレシャスホワイト、内装建具に調和する木目調カラーベール、クリエダークの 5 色を用意。

ナブテスコ(株)環境カンパニー

通行したい人だけに開き、不要開閉を削減し、省エネ性を高め、快適な室内環境を維持する「インテリジェントecoDシステム」

■「インテリジェントecoDシステム」/ベクトルサーチ「ViS-N6000 / N4000」—人の動きを読み取り、自動ドアを通行したい人だけに開き、横切るだけの人には開かない画期的な自動ドアシステムのパイオニア。

特長は、①自動ドアの不要な開閉を減らし、風除効果を高め快適な室内環境の維持。②車椅子使用者とその介護者や目の不自由な方々がバリアと感じるタッチスイッチ式自動ドアのタッチ動作を不要にしたバリアフリー仕様。③人がドアを通過した後の不要開放時間を短縮した省エネルギー効果—等。「羽田空港第2ターミナルビル」や「伊丹空港」などの空港につづき、人の通行量がおおひ病院や商業ビル向けにも展開している。

ユニバーサルデザイン
多機能トイレ自動ドア用「HDS-4iα 押しボタンスイッチ」

■多機能トイレ自動ドア用「HDS-4iα 押しボタンスイッチ」(グッドデザイン賞受賞)—トイレス空間への調和と「わかりやすさ」「使いやすさ」を両立したパブリックトイレのユニバーサルデザインスイッチ。

特長は、①次に操作するボタンが点灯し、同時にドアの動作状況に応じて流れる音声ガイドに

よる「光と音による操作案内」。
②低視力ユーザーを想定し、文字フォントやレイアウトなどに配慮した押しボタンスイッチ。また、赤緑色覚障害者にも識別しやすい白と黒の押しボタンの採用。使用中の場合のみ文字が浮かびあがる表示方法。③押しやすさを追求した直径 70mm の大径ボタンの採用—等。

「ナブコ防火ドア (60 SUS) FEAシリーズ」
低膨張防火ガラス仕様の新特定防火設備

■「ナブコ防火ドア (60 SUS) FEAシリーズ」—SUS 鋼製 1.5mm 厚 (ヘアライン・鏡面・パブリケーション)・低膨張防火ガラス 6.5mm 厚 (飛散防止フィルム貼り選択可能) 仕様の新たな特定防火設備シリーズ。

特長は、スリムな框フレームのすっきりとした意匠性、低膨張防火ガラスと飛散防止フィルムによる安全設計、開口部床面のガイドレールのないバリアフリー設計、自動ドア初のパッケージ閉鎖装置を採用したコンパクトな無目サイズ等。さらに、業界最大級の引き戸・自動ドアのサイズ設定も特長。「自動引き戸」引分け・片引き、「手動引き戸」両開き・両開き (片側閉閉)・片開き、「防火窓」単窓などの豊富なバリエーション展開。

ナブコシステム

低温庫向けの高断熱・高气密・超高速スパイラルドア「SST-TK100」、温度管理された食品加工工場・精密機械工場・クリーンルームにも最適

■高断熱・高气密・超高速スパイラルドア「SST-TK100」——ドイツのエファフレックス社製「超高速スパイラルドア」シリーズの低温庫向けに開発された新しいラインナップ。気密性も高く温度管理された食品加工工場や精密機械工場、クリーンルームなどさまざまなシーンに利用できる新商品。

特長は、パネル厚100mm仕様で、使用可能温度帯が-30℃～0℃（反装置側）、0℃～30℃（装置側）。結露防止のための三方気密ゴム及びパネル連結部内部にヒーターを標準装備する。また、独自のAFMシステムを用いて、ドアパネルをフレームに押し付けることで高い気密性能も有している。国内でJIS A4702気密試験を受けA-4等級。製作寸法は最大W4000mm、H6000mm（但し最大18㎡まで対応可能）。

特殊複層ガラスユニットを採用した完全フラットecoドア「N-Flatドア（F型）」

■「NS e-style ドアシリーズ」（安全性と機能性を追求した究極の扉シリーズ）——◆完全フラットecoドア「N-Flat ドア（F型）」新開発の特殊複層ガラスユニットを採用したドアの内外ガラス面と

YKK AP

ビル用エントランス商品「SYSTEMA 31e」、高意匠化・内装木質化に対応し地産材使用の内観「木化粧仕様」発売



■高意匠ビル用エントランス商品「SYSTEMA 31e」——オフィスビルや医療施設などの非居住建築物・公共建築物の高意匠化・内装木質化のニーズに対応したビル用エントランス商品。

外観は、10mm幅のグリッド目地を設けることでスリムさを強調したフレームを採用し、ガラス面の透明感と開放感を強調した意匠。

また、自動ドアのフレーム幅を統一するから、低層部から高層部まで建物全体のトータルコーディネートが可能にした。

内観は、フィン形状のシャープ感を得られる「アルミ仕様」と、エントランス商品では業界初の「木化粧仕様」（木材現地調達品）の2タイプ。

とくに、温かみの天然木を使用する「木化粧仕様」は、国内地域産の木材をアルミフレームにアタッチメントを介して取り付けられるから、近年の公共建築物の内装木質化に対応すると共に、地球環境への配慮、地域林業の活性化にも寄与することが期待される。

縦フレームのフラット化を実現した安全性を追求したecoドア。内部側に防護柵や防護扉がある場合でも指はさみ防止のための引き残しが不要なことも特長。◆四方フレームの大型タイプ「ハイグランドドア（H型）」：現代的な建物にフィットする外観上のアクセントとして、スリムな角だし縦フレームを採用してシャープさを向上。最大ドア高さ3500mmを実現。強化安全ガラスのコバをフレームでカバーし安全性を向上させ、一般扉ドアとの互換性に優れ、取替え工事も容易にできる。

日本の四季を存分に満喫するのアイテム、ナブコ手動上下式ガラスクリーン「Café au Lâ（カフェオレ）」

■これまで国内エクステリア建材ではなかった手動上下式ガラススクリーン。

その時々々の気候に合わせて任意にスクリーンの高さを変えられるという発想から生まれた新商品。寒風が吹く冬の季節でも屋外で有意義に過ごす、レトランやカフェのテラス席に最適。また、「Café au Lâ（カフェオレ）」を設置することでパラソルヒーターを必要最小限にすることが出来る為、客席数やテーブルレイアウトが自由自在になり、エコにも貢献する製品になる。発売は2017年春を予定している。

三協立山

通期業績売上高3420億円（3.0%増）、営業利益85億円（36.0%増）を予想、建材2200億円／40億円の減収減益

三協立山（山下清胤社長）の平成29年5月期第2四半期連結業績は、売上高1583億6700万円（前年同期比5.7%減）、営業利益40億3900万円（78.5%増）、経常利益40億4400万円（142.7%増）の減収増益となった。

セグメント別の売上高／営業利益——◇建材事業1008億0300万円（3.2%減）／22億3000万円（26.8%増）。◇マテリアル事業195億7200万円（11.8%減）／18億2200万円（7.8%増）。◇商業施設事業184億3700万円（6.2%増）／10億8400万円（34.9%増）。◇国際事業194億7900万円（19.4%減）／営業損失10億7900万円。

通期予想——売上高3420億円（3.0%増）、営業利益85億円36.0%増、経常利益75億円39.0%増。セグメント別：建材2200億円／40億円。マテリアル430億円／36億円。商業施設370億円／17億円。国際420億円／損失7億円。

YKK AP

「防火窓Gシリーズ」の「アルミ複層タイプ」「アルミ樹脂複合タイプ」に業界初の「耐熱強化複層ガラス仕様」

YKK AP（堀秀充社長）は、国土交通大臣認定防火設備「防火窓Gシリーズ」に、木造戸建住宅用の「アルミ複層タイプ」「アルミ樹脂複合タイプ」として、業界初の「耐熱強化複層ガラス仕様」を1月10日から全国発売を開始した。

「耐熱強化複層ガラス仕様」（耐熱強化Low-E複層ガラス透明）は、ガラス面積をおおきくとり眺望性を重視した最近の住宅用窓スタイルに対応し、断熱性との両立を実現する。とくに都市部において防火／準防火地域での採用、浸透に力をいれる。また、網入ガラスの防火窓と比較して、最大約15%軽量化（引違い窓16513サイズ障子）していることも特長。窓の閉開はしやすく、施工・搬入時の負担も軽減される。同時に、眺望性に優れた「クリアネット網戸」を採用する。窓種は、「アルミ複層タイプ」（熱貫流率2.33W/m²・K中空層10mm以上）と「アルミ樹脂複合タイプ」（熱貫流率3.49W/m²・

K中空層10mm以上）に、引違い窓（窓タイプ）、引違い窓（テラスタイプ）、片上げ下げ窓、FIX窓、たてすべり出し窓（オペレーターハンドル仕様）、すべり出し窓（オペレーターハンドル仕様）。

ガラス入り参考価格：引違い窓（窓タイプ）W1690×H1170mmのアルミ樹脂複合タイプ27万6900円／アルミ複層タイプ19万7700円。たてすべり出し窓W640×H1170mmのアルミ樹脂複合タイプ12万8300円／アルミ複層タイプ7万6400円。

中国建築門窓業界「金軒賞」をブランド部門で「YKK AP」、窓CW部門で「LD 135 スライディング」が受賞

YKK APは、中国金属構造協会主催の第2回建築門窓業界「金軒賞」を、「もっとも影響力があるブランド」部門で「YKK AP」、「もっとも創造力がある門窓カーテンウォールシステム」部門で「断熱サッシ「LD135スライディング」」がそれぞれ受賞した。

また、「LD135スライディング」は、上海建築材料業界協会主催の「上海市新緑賞」の「機能設計優秀商品」部門も受賞している。断熱サッシシリーズ「LD135」は、中国の華東エリアを中心に供給している商品。熱変形防止断熱材を採用した高い断熱性と独自の排水機構による耐水密性が特長。同時に様々な機能部品を使い操作性、安全性を高いレベルで実現している。

日本サッシ協会／カーテンウォール・防火開口部協会

省エネ・高付加価値製品の普及、商材の強みを活かしたリフォーム市場の掘り起こしを推進——白井理事長



日本サッシ協会／カーテンウォール・防火開口部協会は1月20日、東京・明治記念館で「平成29年新年賀詞交歓会」を、由木文彦国土交通省住宅局長、土田浩史経済産業省製造産業局大臣官房審議官の来賓をはじめ協会理事・会員出席の下に開催した。

冒頭、白井春雄理事長・会長は、「新築住宅の市場規模が圧縮されていくところ、業界としては高付加価値製品の普及、新たな市場つくりとしてリフォーム市場の掘り起こしも今後はより一層必要となります」。

「付加価値のひとつである省エネルギー性の向上については、COP21で各国の温室効果ガス排出量削減目標の設定がされ日本としても住宅を含む建築物の省エネがさらに促進されていくものと存じます。今年は省エネ基準が2000㎡以上の非住宅建築物に対して義務化されます。また、建材トップランナー制度については2020年の目標達成に向けた活動も推進されると共に、ZEH、ZEBの普及を含めて、業界にとって省エネ化推進への貢献を求められる年となります。

「リフォーム市場については、住宅ストック循環支援事業の交付申請が始まります。この市場活性化の支援事業について感謝し期待しています。ただ、政策に頼った活動のみでは本来の業界発展に結びつかないと考えます。住宅から逃げる暖房エネルギーの半分以上を占める窓をエコリフォームすることは、高い省エネ効果を生みます。我々にはカバー工法や内窓設置等々、短期間でリフォーム工事を完了させられる商材を持つという強みがあります。これらを活かしてお客さまにご負担をかけずに快適性を提供する窓リフォーム市場を形成していくことは業界の発展のためには必須と考えます。本年も行政施策を活用しながら、窓・サッシの省エネ化に加えて防火・防犯・安全も含めた高付加価値商品の普及、他にも契約適正化の推進、社会保険の加入推進、施工技能者の育成などについても努めてまいります」と挨拶した。

全国自動ドア協会

制定予定のJIS規格を関係者にご案内して自動ドアの安全性を高めていくことが責務——上仲会長



全国自動ドア協会（上仲宏二会長）は1月17日、東京・アジュール竹芝で「2017年新春賀詞交歓会」を約100人出席の下に開催した。

冒頭、上仲会長は「本年は四年です。西は新年に初めて鳴くということで縁起が良い、また取り込むということでビジネスには縁起よい年と言われています。昨年のはじめにはイギリスのEU離脱、暮れにはトランプ氏が勝利するという世の中先の見えない状態にある昨今です。この変化にどう対応していくか我々の力が試されていると思います。国内は2020年の東京オリンピック

に向けて会場施設、宿泊施設が建ちますし、中小大規模再開発もありますから、自動ドア業界はこの先3年4年仕事をいただけるかと期待しています。協会としては、安全性を高めるJIS制定に取り組んでいます。順調にいけば4月には制定される見通しです。今回のJISは、自動ドア、セッサの規格化だけではなく、サッシ、ガラスについても安全性が求められるものですから、関連の業界、施主様、管理会社様到我々自動ドア業界がJIS規格をご案内して、自動ドアを安全なものにしていくのが我々の責務と考えておりますので、会員の皆さまよろしく願います」と挨拶した。引き続き、山村望副会長の乾杯の挨拶後、交歓・歓談に移った。古野重幸副会長が中締め挨拶をこなした。

日本シャッター・ドア協会

浸水防止用設備のJIS化、シャッター・ドア施工技能検定制度への取り組みを進める——木下会長



日本シャッター・ドア協会は1月13日、東京・グランドアーク半蔵門で「平成29年新年賀詞交歓会」を開催した。

冒頭、木下和彦会長は、「西年は運氣や人を取り込み、商売繁盛につながると古くから言われております。米国の次期大統領のトランプ氏が公約した大規模な公共投資による米国経済成長の加速が予想されます。また、国内ではオリンピック施設の格別な発注など明るい話題が出てきておりまして、期待の膨らみとなるのではないかと期待をしております。

「当協会の活動の目的はシャッター・ドア、防火設備の性能向上と適切な品質・安全性を確保し、健全な普及促進を図ることを目的としています。その一環として昨年からの防火設備の検査報告制度もスタートしています。また、新たな重要なテーマとしては浸水防止用設備のJIS化、シャッター・ドアの施工技能検定制度への取り組みも現在行なっております。

「我々会員企業は自社の健全な成長を追求しつつ、合わせて業界全体の発展についても力を発揮しなければなりません。共存共栄は存続の条件であると松下幸之助氏が申していますが、そのことを私は心に刻み、会員の皆さまと共に邁進したいと思っています。協会として社会に貢献できる事業に取り組

んで参りたいと存じますが、その実現ためには皆さまからのご支援がなによりも大切です」と挨拶した。

ナブコシステム

ステンレス建材のエヌ・エヌ・トートを「ナブコトート」、エヌ・エヌ・メタルを「ナブコメタル」へ社名変更



ナブコシステム（山村望社長）は1月1日付で、100%子会社のステンレス建材工場であるエヌ・エヌ・トートを「ナブコトート」、エヌ・エヌ・メタルを「ナブコメタル」にそれぞれ社名を変更した。

◇「ナブコトート」概要——所在地：宮城県栗原市築館字新田20番地2/代表者：大浦雅宏社長/事業内容：金属製建具（ステンレス、スチール）ならびにその他金属内外装全般製造/資本金：8000万円/設立年月日：平成13年3月27日/従業員59名（平成28年12月1日現在）/年間売上高7億2000万円（平成28年5月期）。

◇「ナブコメタル」概要——所在地：札幌市西区寒寒16条14丁目6-37/代表者：是常謙悟社長/事業内容：金属製建具（ステンレス、ブロンズ）ならびにその他金属内外装全般製造/資本金：4000万円/設立年月日：昭和44年7月8日/従業員39名（平成28年1月1日現在）/年間売上高25億円（平成27年5月期）。

◇「ナブコシステム郡山支店」の新事務所（スタッキングドア、GT-710バリオブランパネルドア仕様、SOAナブコ気密ドアなど設置）——住所：福島県郡山市安積町荒井字石樋16-1/電話024-946-1725・FAX024-947-3505。◇「ナブコシステムくりこま営業所」新事務所（スタッキングドア、DS型自動ドアHM仕様バリオブランパネル仕様、NSE-styleドアF型など設置）——住所：宮城県栗原市築館字沢沢上橋32-157/電話0228-24-7390・FAX0228-24-7379。

昭和フロント

低層用CW「ローライズX」マリオン・バックマリオンタイプ方立を共通化、デザイン対応力をアップ

昭和フロント（長谷川伸二社長）は、2016年4月発売の低層用カーテンウォール「ローライズX」に、「マリオンタイプ」車板ガラス仕様「バックマリオンタイプ」ならびに「たてすべり出し窓」を追加、1月16



日から発売を開始した。

特長は、「マリオンタイプ」と「バックマリオンタイプ」の方立を共通化したことにより、1階2階マリオンタイプ（ガラスが方立の奥に付く）、3階以上バックマリオンタイプ（ガラスが方立の前面に付く）のスタイルが同一面内で採用できファサードデザインの幅を広げた。

また、既存の「外倒し窓」突出し窓に、框収納タイプのフラットハンドルや開放制限アームを使用し意匠性を向上させた「たてすべり出し窓」を追加し、マリオンタイプ、バックマリオンタイプ共に隠し框式の開口部が3種類に拡充された。

カラーは、シルバー、ブロンズ、ビュアホワイト、ブラック、ステンカラー、ダークブロンズの6色。方立見込200・250・350mm。耐風圧性能S-3（1600Pa）・S-4（2000Pa）・S-5（2400Pa）。気密性能A-4以上。水密性能FIX1500Pa、開口部1000Pa。

三和ホールディングス

学校間仕切部の日本スピンドル製造建材事業を4月1日付譲受

三和ホールディングス（高山俊隆CEO）は、日本スピンドル製造（有藤博社長）より木製学校間仕切を主力とする建材事業を4月1日付で譲り受けること発表した。日本スピンドル製造が建材部門を分割し、同社100%子会社のスピンドル建材サービスに吸収させた上で、スピンドル建材サービスの全株式を譲り受ける形をとる。譲受後、社名を三和スピンドル建材株式会社として、連結対象子会社としてグループの間仕切事業の一翼を担う。

日本スピンドル製造の学校間仕切事業を譲り受けることで、三和グループは学校間仕切市場のトップシェアを確保し、多品種化戦略の重点部門である間仕切事業における拡販体制を整えた。日本スピンドル製造建材事業の売上高は23億円（2015年度実績）、従業員64名。